

# 地域のくらしを変える一大事業が結実

# 1996

地域社会と歩き始める。

1996

- SBSラジオ「土曜ワイドラジオEAST」番組制作(継続)
- ハックキミサワ富士厚原店竣工
- JR天王寺駅ビル「MiO」プロモーション('07年度まで)  
＜JR西日本コミュニケーションズ＞



▲SBSラジオ「土曜ワイドラジオEAST」番組制作

1997

- サントムーン柿田川竣工・開業
- 静岡中央銀行TVCM企画・制作
- 第10回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクおきなわ'97」実施＜電通テック＞



▲JR天王寺駅ビル「MiO」プロモーション

1998

- 回転寿司うおや亭三島店設計・施工
- 静岡新聞企画記事「風は東から」企画・制作(継続)
- 沖縄県サマーキャンペーン＜電通テック＞



▲サントムーン柿田川竣工・開業

1999

- ウェルディ長泉竣工・開業
- ルピア函南リニューアル竣工
- 伊豆新世紀創造祭回廊イベント実施(各地)



▶沖縄県サマーキャンペーン



▲ウェルディ長泉竣工・開業

2000

- ◆三島本社ビル拡張工事
- 九州・沖縄サミット沖縄首脳会合「沖縄じょうほう館」展示制作・施工＜電通テック＞
- FIVE-J静岡伝馬町プラザ開業
- 静岡県東海道四〇〇年祭東部拠点事業「東海道大宿場まつり」実施



▶FIVE-J静岡伝馬町プラザ開業

三島に根を下ろして迎えた新しい10年は、ラジオEASTの放送開始とともにスタートする。広い視野と多彩なノウハウを備えた企画集団としてボーダーレスな活動を指向しつつも、地域社会にも目を向け始めた10年間を象徴する出来事だ。

そして、シードの発展史における最大のエポックともいえる1997年が訪れる。4月24日、サントムーン柿田川のオープンだ。今なお発展を続ける静岡県東部のにぎわいの核の誕生である。プロジェクトへの着手は創業時まで遡る。幾度となく

壁にぶつかりプラン変更を余儀なくされながらも、西島社長が粘り強くプロジェクトを牽引し、全社一丸となって持てるノウハウを結集させて、大輪の花を咲かせた。そしてシードは「複合商業施設の総合プロデュース」という独壇場を手に入れる。

1999年のウェルディ長泉、翌年の静岡FIVE-J、2002年の富士急百貨店、2004年の三島タワーズショップ、さらに2005年の富士吉田Q-STAと、SCの新設あるいは再生プロジェクトはコンスタントに続き、シードは卓越したSCプロ

2001

- ◆株式会社アイティ・イニシアティブ設立
- 日本ガス興業プロモーション('03年度まで)
- 伊東マリンタウンプロモーション('04年度まで)
- 第16回「海の祭典」あおもり実施＜電通東北＞

2002

- 富士急百貨店リニューアル竣工
- ムラサキスポーツ静岡店プロモーション(継続)
- 沖縄花のカーニバル「フラワーフェスタ2003」実施＜電通テック＞

2003

- ◆三島本社第2ビル開設
- トムス・エンタテインメント AGスクエア松本店設計・施工
- ファルマバレー構想・ファルマバレーセンターパンフレット
- 新宿タカシマヤ「海洋堂大博覧会」実施

2004

- ◆三島本社ビル連結工事
- ◆株式会社スポーツ・ウェルネス総合企画研究所設立
- 第17回全国健康福祉祭群馬大会「ねんりんピックぐんま」実施＜群馬テレビ・電通テック＞
- ネットヨタ静岡「NETS VOICE」企画・制作
- 三島本町タワーズショップ竣工

2005

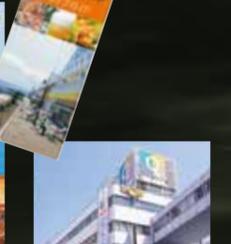
- ◆シード創業20周年
- ◆三島本社第2ビル拡張工事
- 群馬県観光ポスター＜電通テック＞
- 「かかりつけ湯」企画・プロモーションツール・WEBサイト(広報運営支援継続)
- 富士吉田富士急ターミナルビルリニューアル「Q-STA」竣工

# 2005

仲間を増やしながら、本社を拡張



▲伊東マリンタウンプロモーション



▲富士急百貨店リニューアル竣工



▲ファルマバレーセンターパンフレット



▲第17回全国健康福祉祭群馬大会「ねんりんピックぐんま」実施



▲富士吉田富士急ターミナルビルリニューアル「Q-STA」竣工



▲群馬県観光ポスター

デュース企業としての地歩を固めていく。同時にまちのにぎわい再生を通じて、地域社会における評価も着実に高まっていった。

一方、営業企画部門では、電通グループとの協働による自治体大型イベントやキャンペーンへの取り組みが相次いだ。そしてこれらの仕事も、地域社会へとつながる。大きな契機となったのが伊豆新世紀創造祭であり、伊豆一円の市町村のイベントプロデュースにメンバーが奔走した。

さらに21世紀の幕開けには地元三島市で、静岡県東海道四〇〇年祭東部拠点事業を開催。現在も関係が深い自治体の多くが、この時期に関係が生まれた、あるいは強化された自治体である。この後、ファルマバレープロジェクトのサポートなどを通じて、自治体との関係性はより強まっていく。

着実な業務の拡大に併せて組織も設備も拡充していく。三島本社では2000年から断続的に拡張工事を続け、2005年、20周年の節目に現在の本社のカタチが整う。